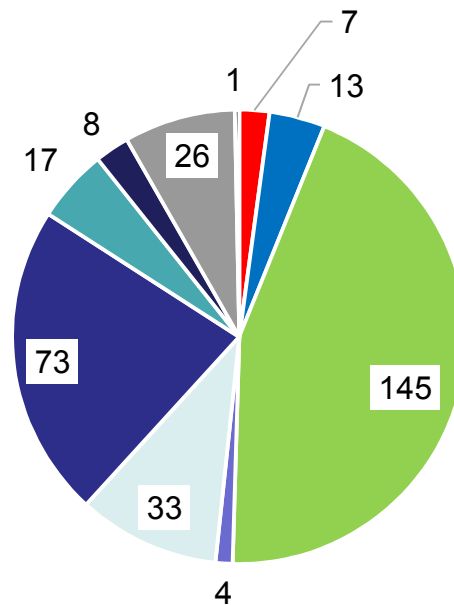


アンケート調査結果一覧 (登録確定事業者)

海事局検査測度課
危険物輸送対策室
平成30年4月

■ アンケート回答件数 327者

■ 本社・本部の所在地(都道府県)について、お答えください。



■ 北海道 ■ 東北 ■ 関東 ■ 北陸信越 ■ 中部
■ 近畿 ■ 中国 ■ 四国 ■ 九州 ■ 沖縄

■ 企業の資本金の規模について、以下より選択してください。

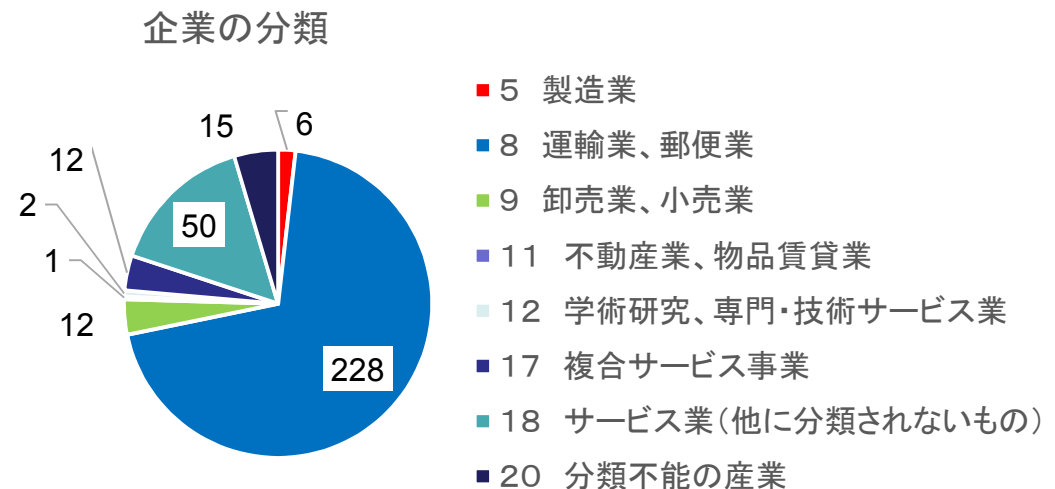
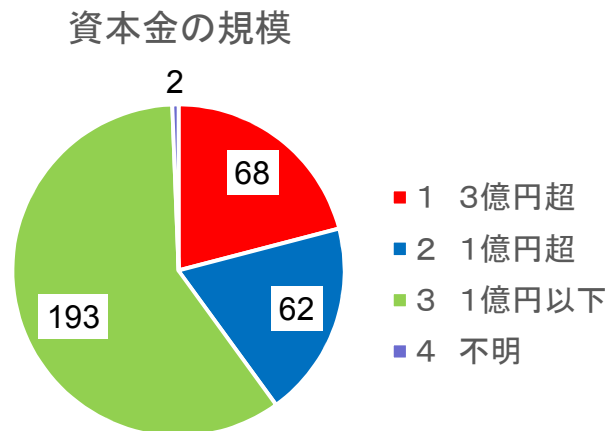
<選択肢>

- 1 3億円超 2 1億円超 3 1億円以下 4 不明

■ 該当する日本標準産業分類の大分類について、以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 農業、林業 2 漁業 3 鉱業、採石業、砂利採取業 4 建設業 5 製造業
 6 電機・ガス・熱供給・水道業 7 情報通信業 8 運輸業、郵便業 9 卸売業、小売業
 10 金融業、保険業 11 不動産業、物品賃貸業 12 学術研究、専門・技術サービス業
 13 宿泊業、飲食サービス業 14 生活関連サービス業、娯楽業 15 教育、学習支援業
 16 医療、福祉 17 複合サービス事業 18 サービス業(他に分類されないもの)
 19 公務(他に分類されるものを除く) 20 分類不能の産業

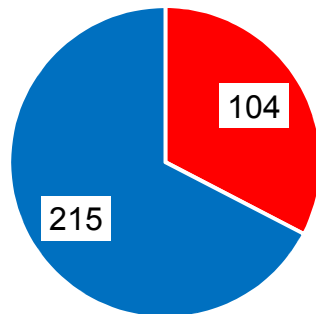


- ISO9001の取得状況について、選択してください。
- AEO輸出者承認の取得状況について、選択してください。
- 貴社(所)における「方法1/2」の区分について、以下より選択してください。

<選択肢>

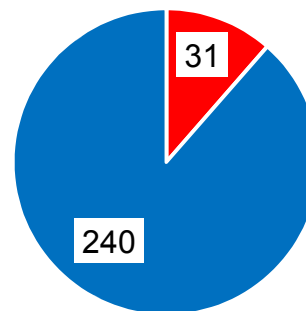
- 1 方法1のみ 2 方法2のみ 3 方法1・2の両方

ISO9001



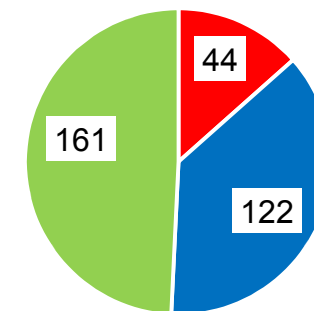
■ 1 取得している ■ 2 取得していない

AEO輸出者承認



■ 1 取得している ■ 2 取得していない

方法1/2の区分



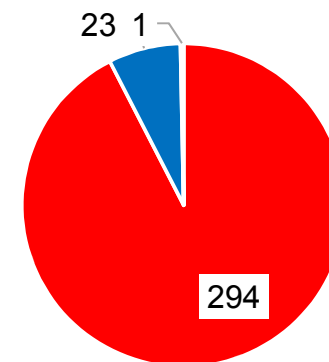
■ 1 方法1のみ ■ 2 方法2のみ
■ 3 方法1・2の両方

問1 <取組状況・全般>

問1 貴社(所)の重量確定業務を行う部署内において、業務実施手順書又は規程を事務所等に備付けられていることを部署内で周知をされていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 各事業所の部署内において周知している
- 2 作成したのみであり、本業務手順書・規程の周知等とはとくにしていない
- 3 不明

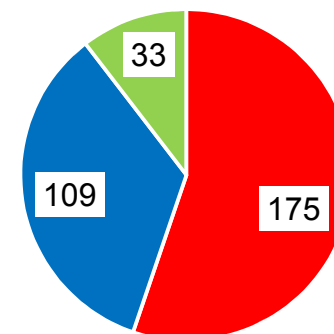


■ 1 周知している ■ 2 周知していない ■ 3 不明

問1-1 貴社(所)の重量確定業務を担う部署以外の周知状況について、以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 代表者・役員や他部署の間において、重量確定業務の手順書又は規程を周知している
- 2 代表者・役員の間においては、重量確定業務の手順書又は規程を周知しているが、他部署はとくに周知していない
- 3 不明



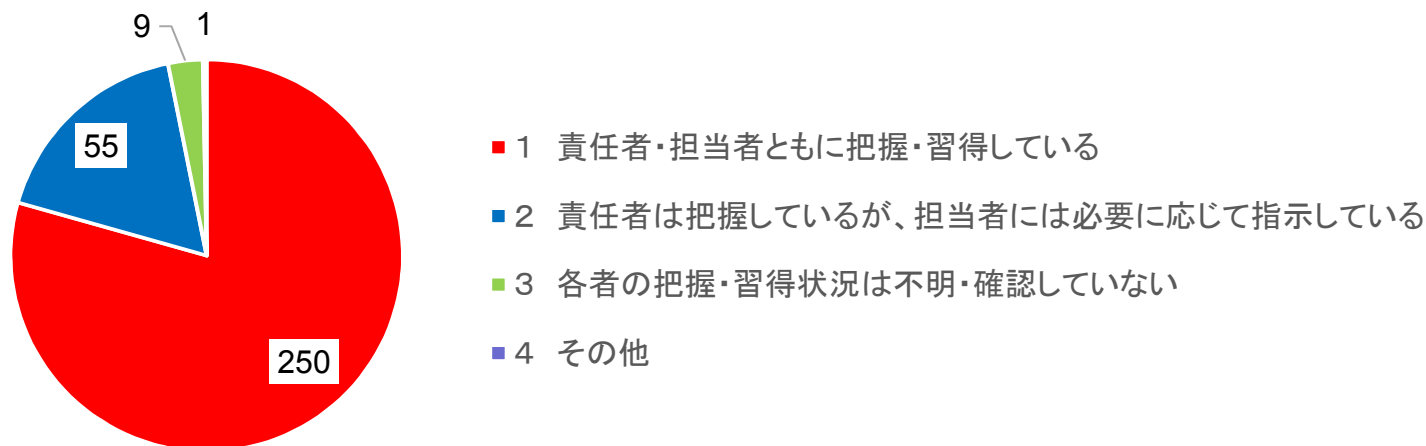
■ 1 代表者・役員や他部署の間において周知している
 ■ 2 他部署は周知していない
 ■ 3 不明

問1 <取組状況・全般>

問1-2 業務実施手順書又は規程に係る重量確定業務の責任者・担当者の把握・習得状況について、以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 責任者は業務実施手順書又は規程の記載内容の詳細を把握し、業務に従事する担当職員も記載内容を習得している
- 2 責任者は業務実施手順書又は規程の記載内容の詳細を把握しているが、業務に従事する担当職員には必要に応じ指示等を行っており各者の習得状況は不明・確認していない
- 3 業務実施手順書を作成したのみであり、とくに各者の把握・習得状況は不明・確認していない
- 4 その他(具体的にご記入ください)

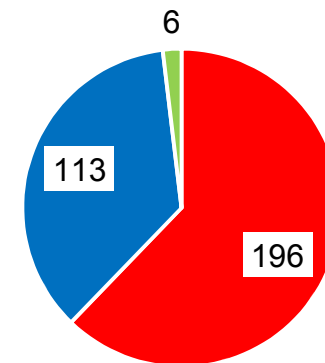


問2 <取組状況・全般>

問2 重量確定業務に関する研修・教育等を実施されていますか。
以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 実施している
- 2 実施していない
- 3 不明



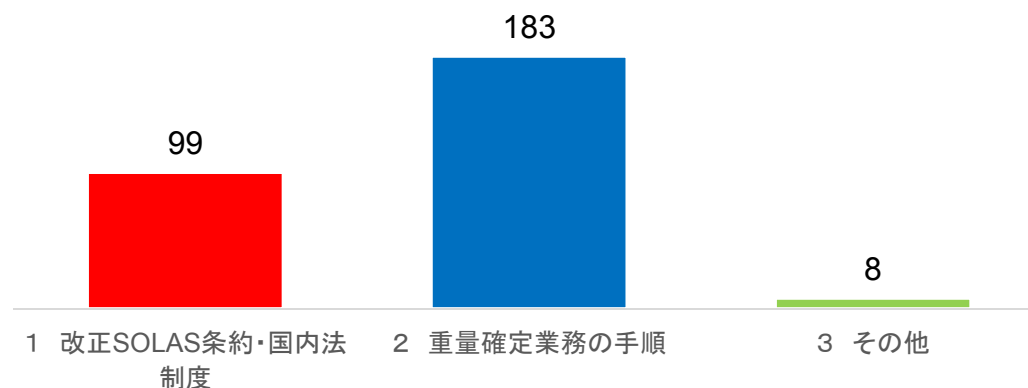
■ 1 実施している ■ 2 実施していない ■ 3 不明

(問2において「1 実施している」を選択した場合)

問2-1 どのような研修内容をされていますか。(複数選択可)

<選択肢>

- 1 改正SOLAS条約・国内法制度
- 2 重量確定業務の手順
- 3 その他(具体的にご記入ください)



■ 1 改正SOLAS条約・国内法制度 ■ 2 重量確定業務の手順
■ 3 その他

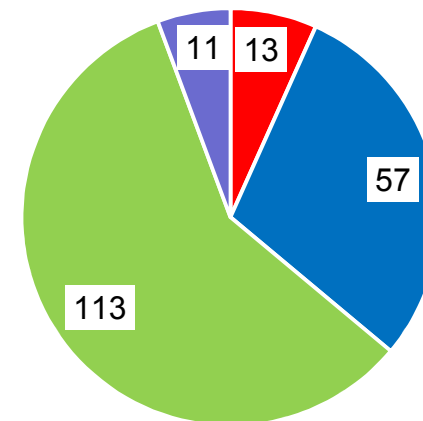
問2 <取組状況・全般>

(問2において「1 実施している」を選択した場合)

問2-2 どのような期間(頻度)で実施していますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 おおむね四半期ごと
- 2 おおむね半年ごと
- 3 おおむね1年ごと
- 4 人事異動等のたびに実施(不定期)
- 5 その他(具体的にご記入ください。)



- 2 おおむね半年毎
- おおむね1年ごと
- 4 人事異動等のたび
- 5 その他

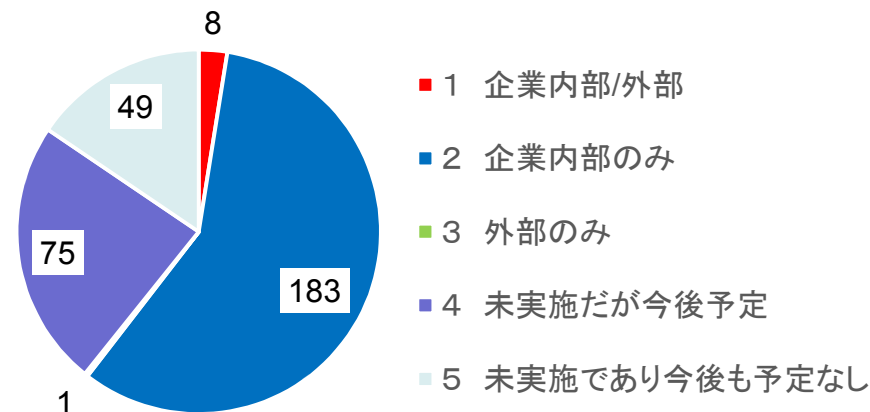
※選択肢1は回答なし

問3 <取組状況・全般>

問3 重量確定業務に関する企業内部チェック/外部監査等の実施状況はどのようになっていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 企業内部／外部の両方を行っている
- 2 企業内部の自己チェックのみ
- 3 外部による監査受検のみ
- 4 現状未実施であるが今後予定している
- 5 未実施であり今後も予定していない

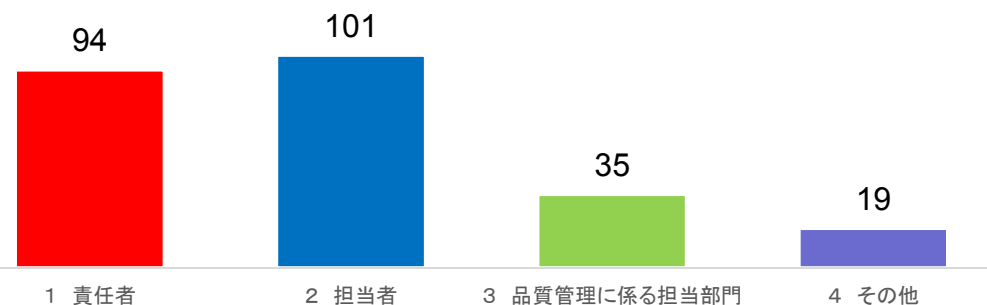


(問3において「1 企業内部／外部の両方を行っている」、「2 企業内部の自己チェックのみ」を選択した場合)

問3-1 企業内部では、どのような部署の方等がチェックされていますか。(複数選択可)

<選択肢>

- 1 コンテナ総重量の確定業務の責任者
- 2 コンテナ総重量の確定業務を行う担当者
- 3 品質管理に係る担当部門(総務・経理等)
- 4 その他(具体的にご記入ください)



■ 1 責任者 ■ 2 担当者 ■ 3 品質管理に係る担当部門 ■ 4 その他

問3 <取組状況・全般>

(問3において「1 企業内部／外部の両方を行っている」、「3 外部による監査受検のみ」を選択した場合)

問3-2 外部監査・チェック等の監査機関等の名称をご記入ください。(自由記述)

※一部抜粋

- ✓ 日本海事検定協会
- ✓ 神戸税関
- ✓ 顧客の監査部門
- ✓ 日本海事検定キューエー株式会社

問4、5 <方法1による確定業務>

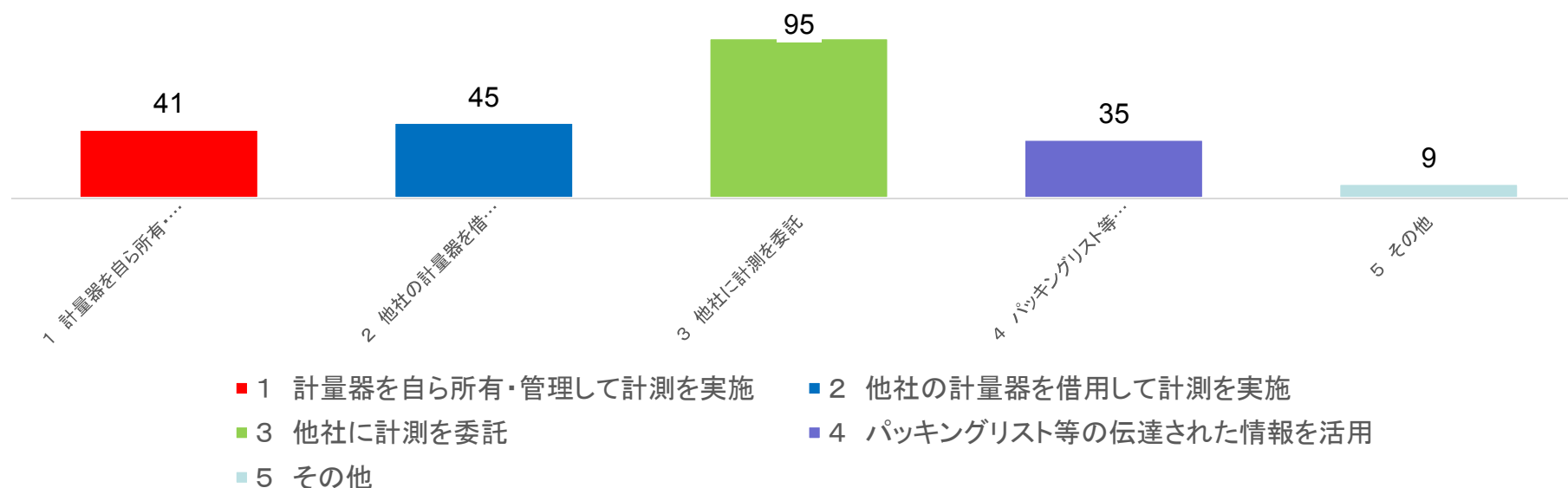
問4 貴社(所)において、平成28年7月1日～平成29年6月30日の期間に「方法1」により重量確定した輸出コンテナの本数及びTEU換算値をご記入ください。

※本数、TEUについては未記入や概数で回答された企業が多いため、正確性に欠くことから未公表とさせていただきます。

問5 どのようにしてコンテナ総重量の計測・算出を実施されていますか。(複数選択可)

<選択肢>

- 1 計量器を自ら所有・管理して計測を実施
- 2 他社の計量器を借用して計測を実施
- 3 他社に計測を委託
- 4 計測の委託をせず、パッキングリスト等の伝達された情報を活用
- 5 その他・不明(具体的にご記入ください)



問5 <方法1による確定業務>

(問5において「1 計量器を自ら所有・管理して計測を実施」、「2 他社の計量器を借用して計測を実施」、「3 他社に計測を委託」を選択した場合)

問5-1 計量器はどのような種類を主に使用されていますか。(複数選択可)

<選択肢>

- 1 計量法の特定計量器(非自動はかり)
- 2 特定計量器以外であるが、適切に調整・点検され、器差が±5%の範囲内である計量器
- 3 不明

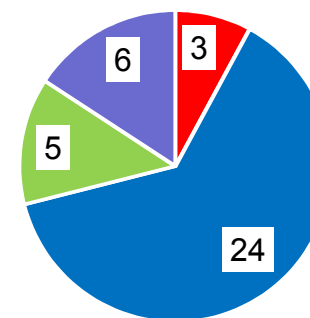


(問5-1において「2 特定計量器以外であるが、適切に調整・点検され、器差が±5%の範囲内である計量器」、「3 不明」を選択した場合)

問5-1-1 どなたが計量器の調整・点検を実施されていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 内部の担当者
- 2 外部の専門業者
- 3 両方
- 4 その他(具体的にご記入ください)



■ 1 内部の担当者 ■ 2 外部の専門業者 11
 ■ 3 両方 ■ 4 その他

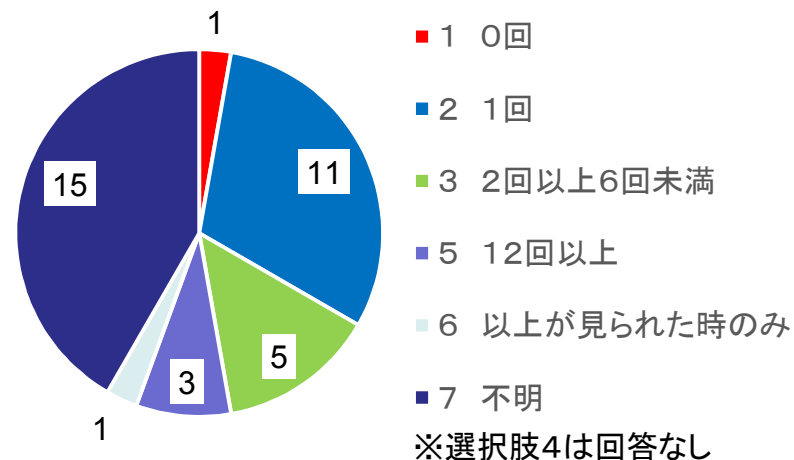
問5 <方法1による確定業務>

(問5-1において「2 特定計量器以外であるが、適切に調整・点検され、器差が±5%の範囲内である計量器」、「3 不明」を選択した場合)

問5-1-2 年間あたりの調整・点検の頻度はどのようになっていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 0回 2 1回 3 2回以上～6回未満
 4 6回以上～12回未満 5 12回以上
 6 故障等異常が見られる時のみ実施 7 不明

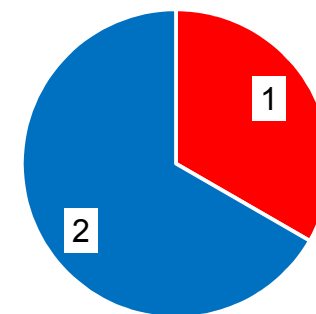


(問5-1-2において「5 12回以上」を選択した場合)

問5-1-2-1 月あたりの調整・点検の頻度はどのようになっていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 0回 2 1回 3 2回以上～6回未満(※1週間に1回程度)
 4 6回以上 5 故障等異常が見られる時のみ実施 6 不明



■ 3 2回以上6回未満 ■ 4 6回以上
 ※選択肢1, 2, 5, 6は回答なし

問5 <方法1による確定業務>

(問5-1において「2 特定計量器以外であるが、適切に調整・点検され、器差が±5%の範囲内である計量器」、「3 不明」を選択した場合)

問5-1-3 調整・点検の項目・結果をご記入ください。(自由記述)

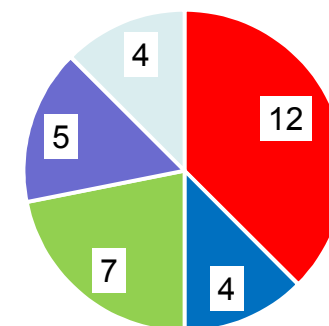
- ✓ ※一部抜粋
- ✓ 外装の確認、零点・水平の確認
- ✓ 簡易型走行トラックスケールのため実走行試験を外部専門業者で実施
- ✓ 購買先に委任しているので不明
- ✓ 錘を抱え、誤差の修正 外部業者による校正は2年に1回行う。
- ✓ 他社計量器の為、不明

(問5において「4 計測の委託をせず、情報伝達のみ」、「5 その他・不明(具体的にご記入ください)」を選択した場合)

問5-2 重量情報の管理や確からしさをどのように担保されていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 適切な計量器が使用されていることを情報の入手元(取引先)に確認している
- 2 情報の入手元(取引先)が「登録確定事業者」であることを要件としている
- 3 予め取引先の重量情報が正確であることについて、契約・取決め等に基づき担保している
- 4 特段実施していない
- 5 その他(具体的にご記入ください)



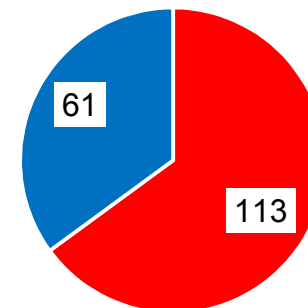
- 1 適切な計量器であることを確認する
- 2 登録確定事業者である
- 3 契約・取決めで担保する
- 4 実施していない
- 5 その他

問6 <方法1による確定業務>

問6 コンテナ総重量の許容誤差や使用する計量器の誤差範囲を把握されていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 把握している
- 2 把握していない



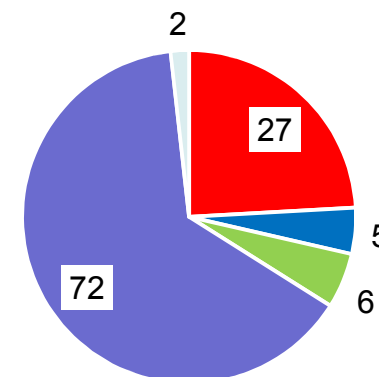
■ 1 把握している ■ 2 把握していない

(問6において「1 把握している」を選択した場合)

問6-1 把握している許容誤差等の数値を以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 1%未満
- 2 1%以上～2%未満
- 3 2%以上～3%未満
- 4 3%以上～5%以下
- 5 5%を超過



■ 1 1%未満 ■ 2 1%以上2%未満
 ■ 3 2%以上3%未満 ■ 4 3%以上5%以下
 ■ 5 5%超過

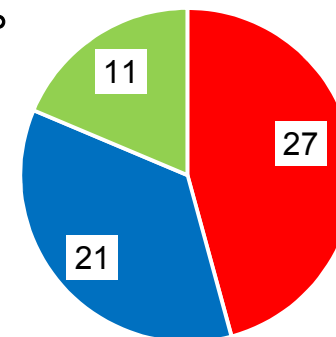
問6 <方法1による確定業務>

(問6において「2 把握していない」を選択した場合)

問6-2 把握していない理由について、以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 把握する手段・方法が分からない
- 2 把握する方法は分かるが、業務が煩雑等になるため実施していない
- 3 その他(具体的にご記入ください)



- 1 把握する手段・方法が分からない
- 2 把握する方法は分かるが、業務が煩雑等になるため実施していない
- 3 その他

問7、8 <方法2による確定業務>

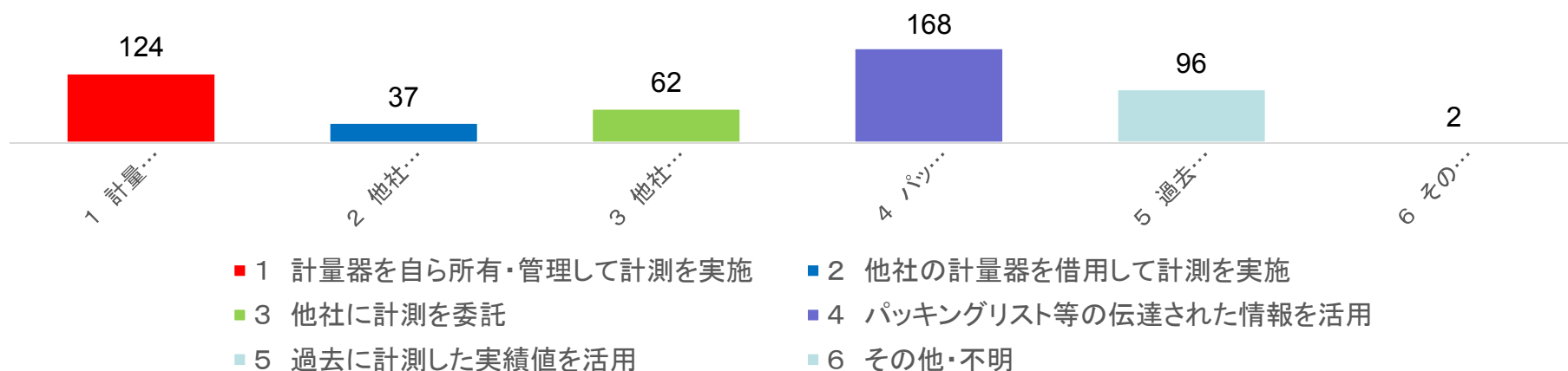
問7 貴社(所)において、平成28年7月1日～平成29年6月30日の期間に「方法2」により重量確定した輸出コンテナの本数及びTEU換算値をご記入ください。

※本数、TEUについては未記入や概数で回答された企業が多いため、正確性に欠くことから未公表とさせていただきます。

問8 どのようにしてコンテナ総重量の計測・算出を実施されていますか。(複数選択可)

<選択肢>

- 1 計量器を自ら所有・管理して計測を実施
- 2 他社の計量器を借用して計測を実施
- 3 他社に計測を委託
- 4 計測の委託をせず、パッキングリスト等の伝達された情報を活用
- 5 その都度の計測はせず、設計書、仕様書又は過去に計測した実績値がある貨物はその数値を適用する
- 6 その他・不明(具体的にご記入ください)



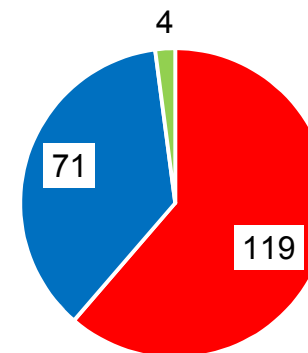
問8 <方法2による確定業務>

(問8において「1 計量器を自ら所有・管理して計測を実施」、「2 他社の計量器を借用して計測を実施」、「3 他社に計測を委託」を選択した場合)

問8-1 計量器はどのような種類を主に使用されていますか。(複数選択可)

<選択肢>

- 1 計量法の特定計量器(非自動はかり)
- 2 特定計量器以外であるが、適切に調整・点検され、器差が±5%の範囲内である計量器
- 3 不明



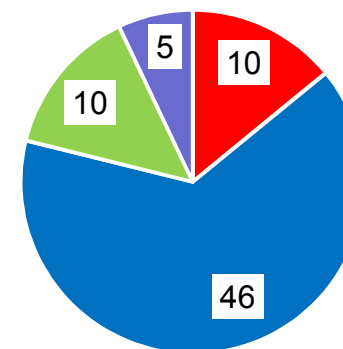
■ 1 特定計量器 ■ 2 特定計量器以外 ■ 3 不明

(問8-1において「2 特定計量器以外であるが、適切に調整・点検され、器差が±5%の範囲内である計量器」、「3 不明」を選択した場合)

問8-1-1 どなたが計量器の調整・点検を実施されていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 内部の担当者
- 2 外部の専門業者
- 3 両方
- 4 その他(具体的にご記入ください)



■ 1 内部の担当者 ■ 2 外部の専門業者 17
 ■ 3 両方 ■ 4 その他

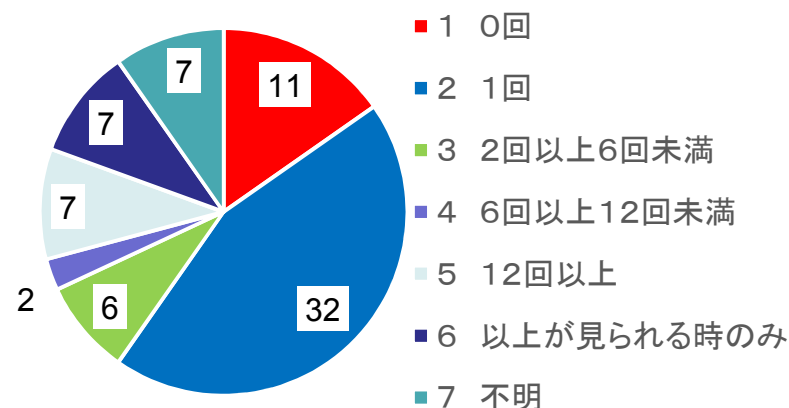
問8 <方法2による確定業務>

(問8-1において「2 特定計量器以外であるが、適切に調整・点検され、器差が±5%の範囲内である計量器」、「3 不明」を選択した場合)

問8-1-2 年間あたりの調整・点検の頻度はどのようになっていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 0回 2 1回 3 2回以上～6回未満
 4 6回以上～12回未満 5 12回以上
 6 故障等異常が見られる時のみ実施 7 不明

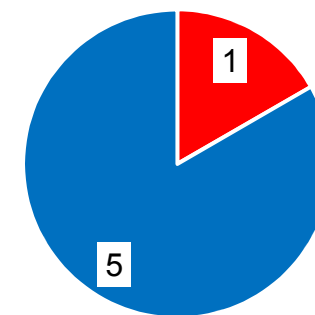


(問8-1-2において「5 12回以上」を選択した場合)

問8-1-2-1 月あたりの調整・点検の頻度はどのようになっていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 0回 2 1回 3 2回以上～6回未満(※1週間に1回程度)
 4 6回以上 5 故障等異常が見られる時のみ実施 6 不明



■ 2 1回 ■ 4 6回以上
 ※選択肢1, 3, 5, 6は回答なし

問8 <方法2による確定業務>

(問8-1において「2 特定計量器以外であるが、適切に調整・点検され、器差が±5%の範囲内である計量器」、「3 不明」を選択した場合)

問8-1-3 調整・点検の項目・結果をご記入ください。(自由記述)

※一部抜粋

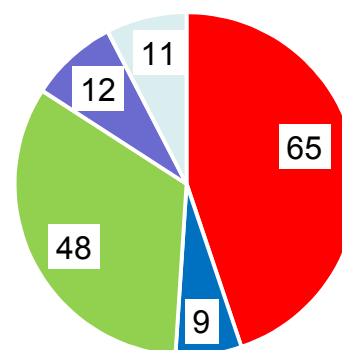
- ✓ 定期検査に代わる計量士による検査
- ✓ 外装の確認 零点・水平の確認 試貫
- ✓ 計量法23条の規定に従った検査。
- ✓ 計量機メーカーの点検手順に従い使用前に調整・点検を実施。
- ✓ 購買先に委任しているので不明
- ✓ 計量器メーカーに検査を依頼

(問8において「4 計測の委託をせず、情報伝達のみ」、「6 その他・不明(具体的にご記入ください)」を選択した場合)

問8-2 重量情報の管理や確からしさをどのように担保されていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 適切な計量器が使用されていることを情報の入手元(取引先)に確認している
- 2 情報の入手元(取引先)が「登録確定事業者」であることを要件としている
- 3 予め取引先の重量情報が正確であることについて、契約・取決め等に基づき担保している
- 4 特段実施していない
- 5 その他(具体的にご記入ください)



- 1 適切な計量器であることを確認する
- 2 登録確定事業者である
- 3 契約・取決めで担保する
- 4 実施していない
- 5 その他

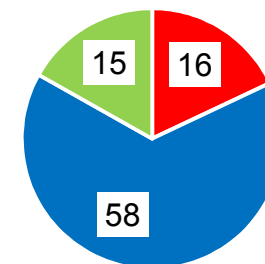
問8 <方法2による確定業務>

(問8において「5 その都度の計測はせず、設計書、仕様書又は過去に計測した実績値がある貨物はその数値を適用する」を選択した場合)

問8-3 重量情報の管理・点検を行っていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 一定期間ごとにチェックして重量情報を管理している
- 2 一定数生産した時点でチェックして重量情報を管理している
- 3 仕様変更等が無ければ、点検は実施していない
- 4 とくに重量情報の管理・点検は実施していない



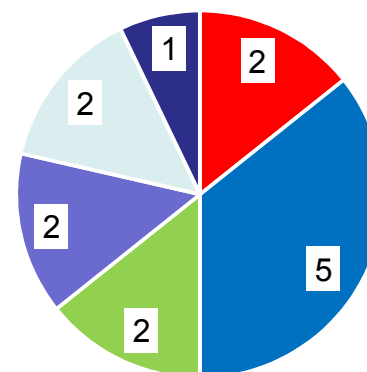
- 1 一定期間ごと
 - 3 仕様変更等ごと
 - 4 実施していない
- ※選択肢2は回答なし

(問8-3において「1 一定期間ごとにチェックして重量情報を管理している」、「2 一定数生産した時点でチェックして重量情報を管理している」を選択した場合)

問8-3-1 年間あたりの調整・点検の頻度はどのようになっていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 0回
- 2 1回
- 3 2回以上～6回未満
- 4 6回以上～12回未満
- 5 12回以上
- 6 故障等異常が見られる時のみ実施
- 7 不明



- 2 1回
 - 3 2回以上6回未満
 - 4 6回以上12回未満
 - 5 12回以上
 - 6 以上が見られる時のみ
 - 7 不明
- ※選択肢1は回答なし

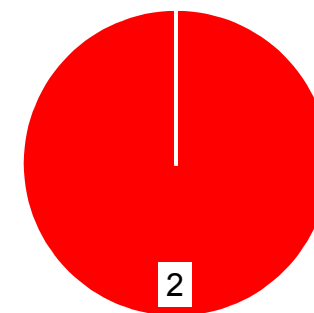
問8 <方法2による確定業務>

(問8-3-1において「5 12回以上」を選択した場合)

問8-3-2 月あたりの調整・点検の頻度はどのようになっていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 0回 2 1回 3 2回以上～6回未満(※1週間に1回程度)
 4 6回以上 5 故障等異常が見られる時のみ実施 6 不明



■ 4 6回以上

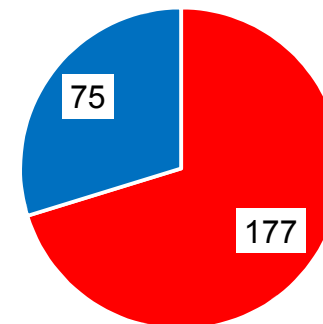
※選択肢1, 2, 3, 5, 6は回答なし

問9 <方法2による確定業務>

問9 コンテナ総重量の許容誤差や使用する計量器の誤差範囲を把握されていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 把握している
- 2 把握していない



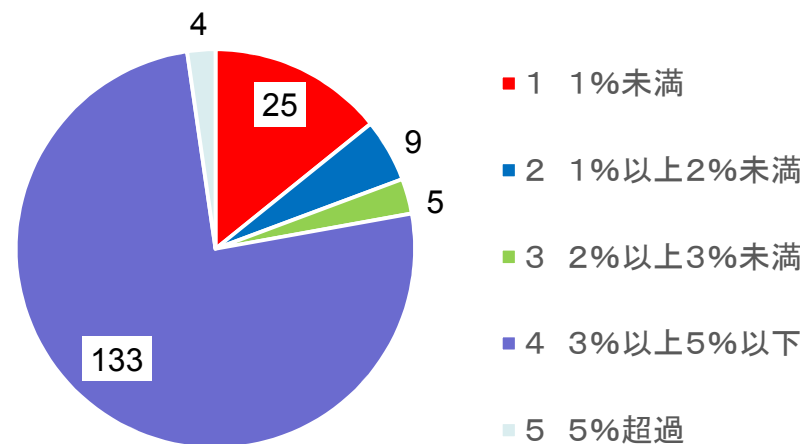
■ 1 把握している ■ 2 把握していない

(問9において「1 把握している」を選択した場合)

問9-1 把握している許容誤差等の数値を以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 1%未満
- 2 1%以上～2%未満
- 3 2%以上～3%未満
- 4 3%以上～5%以下
- 5 5%を超過



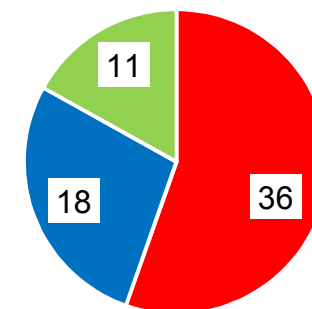
問9 <方法2による確定業務>

(問9において「2 把握していない」を選択した場合)

問9-2 把握していない理由について、以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 把握する手段・方法が分からない
- 2 把握する方法は分かるが、業務が煩雑等になるため実施していない
- 3 その他(具体的にご記入ください)



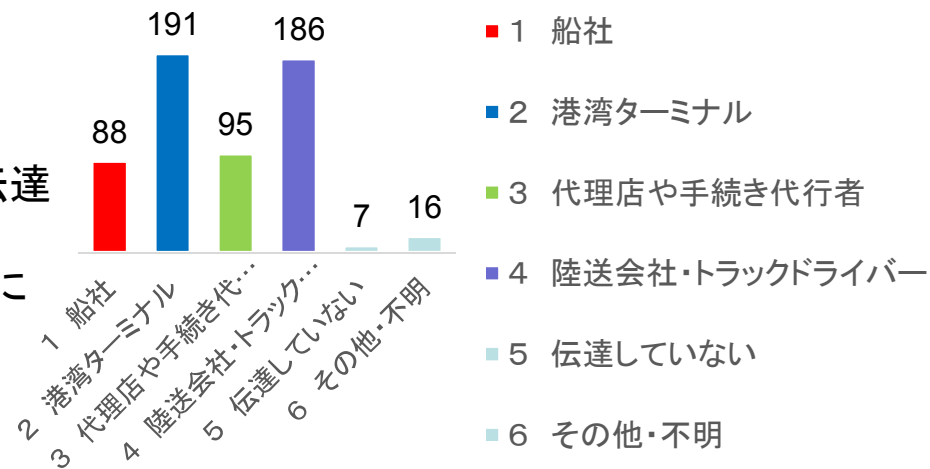
- 1 把握する手段・方法が分からない
- 2 把握する方法は分かるが、業務が煩雑等になるため実施していない
- 3 その他

問10 <コンテナ貨物情報の伝達方法>

問10 貴社(所)から見て、コンテナ貨物の情報(確定した重量情報含む)は、通常誰に伝達されていますか。(複数選択可)

<選択肢>

- 1 コンテナを海上運送する船社に直接伝達
- 2 コンテナを海上運送する港湾ターミナルに直接伝達
- 3 代理店や手続き代行者などに委任
- 4 陸送会社・トラックドライバーなどコンテナを港湾に輸送する者に伝達
- 5 伝達していない
- 6 その他・不明(具体的にご記入ください)

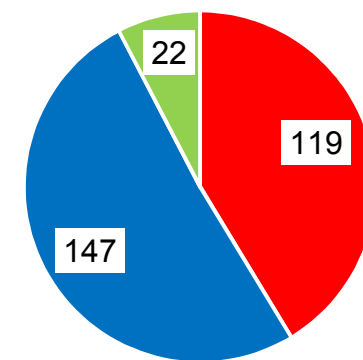


(問10において「2 コンテナを海上運送する港湾ターミナルに直接伝達」、「3 代理店や手続き代行者などに委任」、「4 陸送会社・トラックドライバーなどコンテナを港湾に輸送する者に伝達」を選択した場合)

問10-1 確実にコンテナ船社に当該情報が伝達されているかを確認されていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 確認している
- 2 確認していない
- 3 確認したいが方法・手段が分からない



- 1 確認している
- 2 確認していない
- 3 方法・手段が分からない

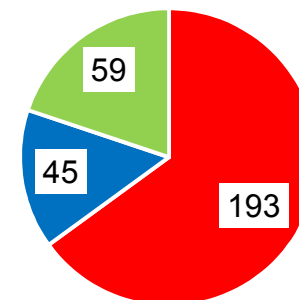
問10 <コンテナ貨物情報の伝達方法>

(問10において「2 コンテナを海上運送する港湾ターミナルに直接伝達」、「3 代理店や手続代行者などに委任」、「4 陸送会社・トラックドライバーなどコンテナを港湾に輸送する者に伝達」、「5 伝達していない」、「6 その他・不明(具体的にご記入ください)」を選択した場合)

問10-2 船社に直接伝達することが将来的に求められるようになった場合に対応可能でしょうか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 可能と思われる
- 2 困難・不可能と思われる
- 3 不明



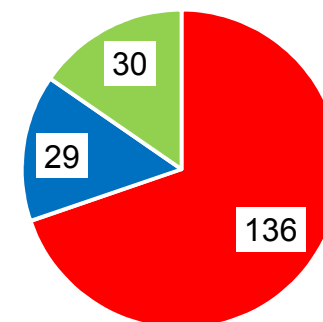
■ 1 可能 ■ 2 困難・不可能 ■ 3 不明

(問10において「4 陸送会社・トラックドライバーなどコンテナを港湾に輸送する者に伝達」、「5 伝達していない」、「6 その他・不明(具体的にご記入ください)」を選択した場合)

問10-3 コンテナを海上運送する港湾ターミナルや、代理店・手続代行者にコンテナ貨物情報を伝達することが求められた場合に対応可能でしょうか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 可能と思われる
- 2 困難・不可能と思われる
- 3 不明



■ 1 可能 ■ 2 困難・不可能 ■ 3 不明

問10 <コンテナ貨物情報の伝達方法>

(問10-2、10-3において「2 困難・不可能と思われる」を選択した場合)

問10-4 そのように思われる理由をご記入ください。(自由記述)

※一部抜粋

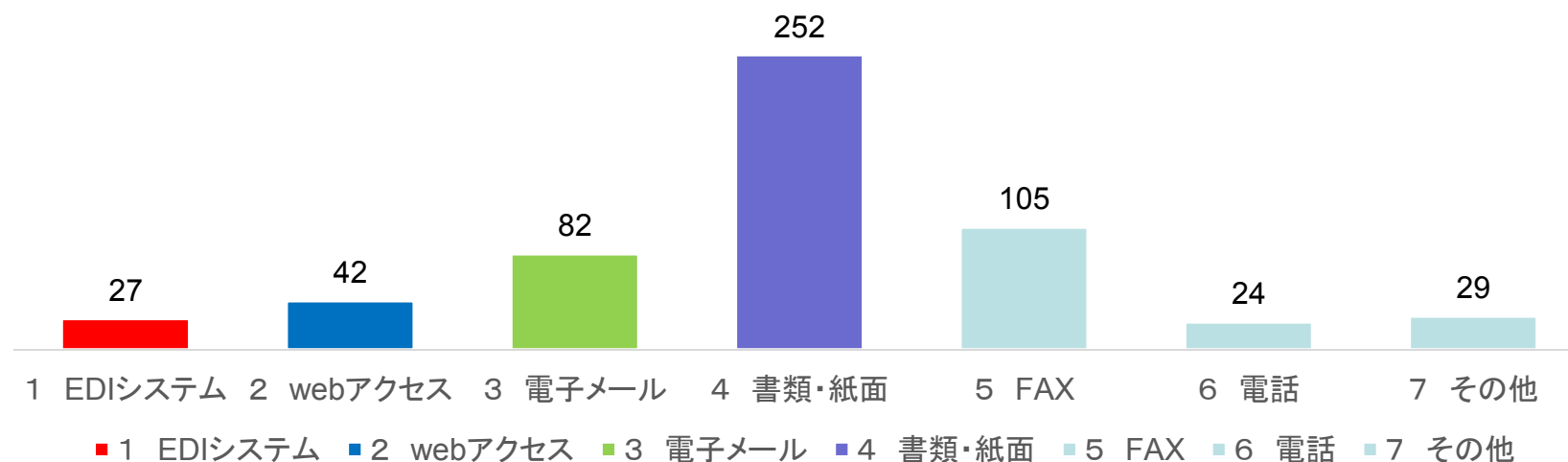
- ✓ 当社の場合、代理店との関わりですので、代理店が港湾ターミナル及び船社に対応してる形です。
- ✓ コンテナを海上輸送する船社及びターミナルにおいて、それぞれのルールがある為、統一したものでない限り不可能と思われれます。情報を受け取る側である船社の手順やシステムを統一することが困難であり、実務的に混乱を招くと思われるから。
- ✓ コンテナドライバー託送する為 直接CYに伝達する意味がない
- ✓ 方法によりますが、現時点におきましても作業負荷が上がっており、これ以上に負荷を受けることは実務上困難である点に加え、システム等の導入などがある場合に、導入及び運営に係る費用が担保される可能性が極めて低い為。
- ✓ その他の計量回数も多い中で、現状では当該業務に今以上の時間や人件費を割く事は、正直困難である。
- ✓ 関係各所にて、情報共有が可能となるシステム等が構築されなければ困難と思考します。
- ✓ 船社は細かな対応までは出来ないのではと思います
- ✓ コンテナ搬入表という紙ベースで運用している限り、難しい。ACLで船会社へB/L情報と共に伝送するなど運用の簡素化が必要。
- ✓ 現在港湾ターミナルに情報を伝達している状況であり、今後船社にも同じように情報を伝達するとなると2倍の手間がかかるうえ業務も煩雑になり、情報の管理も難しいと思われるため。
- ✓ 間にあまりにも複数の会社が入っておりそれらの情報漏れが懸念されるため困難と思います。
- ✓ 営業等を通しての作業を行うため、直接、船会社やターミナルと話をする事が少ない。
- ✓ 台貫場を利用しての計量については、船社やNACCS等と情報を連動するシステムが導入されれば可能になるのでは。

問11 <コンテナ貨物情報の伝達方法>

問11 貴社(所)から見て、問10の伝達方法はどのようになっていますか。
(複数選択可)

<選択肢>

- 1 EDIシステムを構築して自動的に実施
- 2 webアクセスして入力
- 3 電子メール(ファイル添付含)にて送信
- 4 書類・紙面を提出
- 5 FAX
- 6 電話
- 7 その他(具体的にご記入ください)

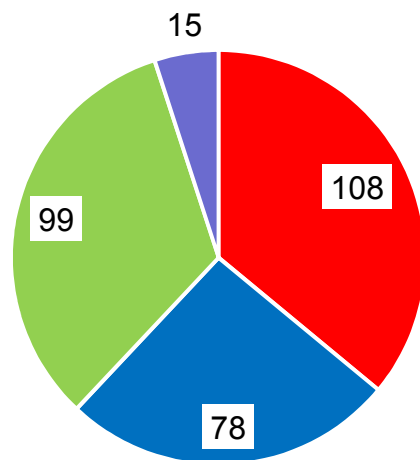


問11 <コンテナ貨物情報の伝達方法>

問11-1 情報伝達の際に輸出コンテナを取り扱う船社又は港湾ターミナルに対するコンテナ総重量情報の提出期限(「VGMカット」)を認識・確認されていますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 各コンテナ船の「VGMカット」を意識しており、各所へ適切に指示・伝達を行っている
- 2 「VGMカット」があることは意識しているが、各々のコンテナ船積みの詳細は現場担当に任せしており、とくに確認していない
- 3 「VGMカット」が設定されていることを意識していない
- 4 その他(具体的にご記入ください)



- 1 「VGMカット」を意識しており、各所へ適切に指示・伝達を行っている
- 2 「VGMカット」があることを意識しているが、各々の各々のコンテナ船積みの詳細は現場担当に任せしており、とくに確認していない
- 3 「VGMカット」が設定されていることを意識していない
- 4 その他

問11 <コンテナ貨物情報の伝達方法>

(問11において「1 EDIシステムを構築して自動的に実施」、「2 webアクセスして入力」、「3 電子メール(ファイル添付含)にて送信」を選択した場合)

問11-2 フォーマットの項目をご記入ください。(自由記述)

※一部抜粋

- ✓ Booking No、バンニングプラン、仕向け地、仕向け港、V.No、ETD、CY CUT、CY搬入予定日、コンテナNo、コンテナサイズ、シールNo、コンテナ種類、Inv No、出荷製番、ケース数、積載貨物重量
- ✓ CLP(コンテナロードプラン)
- ✓ CYシステムのETC搬入情報

(問11において「1 EDIシステムを構築して自動的に実施」、「2 webアクセスして入力」、「3 電子メール(ファイル添付含)にて送信」を選択した場合)

問11-3 コンテナや貨物の重量情報以外に電子的に送信している情報をご記入ください。(自由記述)

※一部抜粋

- ✓ 船社名、ブッキング番号、コンテナ番号、パターン番号(シッパー名)、コンテナシール番号、バンニング日、ターミナル搬入日時(予定)
- ✓ 船社から指定されているS/O情報
- ✓ 通関必要情報、S/I情報
- ✓ バンニング情報登録、輸出貨物情報登録(ECR)
- ✓ 重量以外のD/R記載必要事項
- ✓ コンテナ搬入票とCLP
- ✓ BL情報

問11 <コンテナ貨物情報の伝達方法>

(問11において「4 書類・紙面を提出」、「5 FAX」、「6 電話」、「7 その他(具体的にご記入ください)」を選択した場合)

問11-4 電子的に伝達しない理由をご記入ください。(自由記述)

※一部抜粋

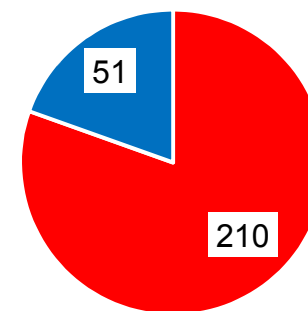
- ✓ 受け手側の希望。
- ✓ コンテナ貨物搬入票に重量を記載しているため、その書面で必要事項の記入は網羅されている為。
- ✓ 現時点で電子的に伝達を行える仕組みが無い為
- ✓ 関係他社において電子処理機器を使用できない環境の社もあるため。
- ✓ 伝達先不明の為、コンテナ搬入票に記載して対応している。
- ✓ 過去から、ずっと紙面で伝達していたので方法を変更したくないから
- ✓ セキュリティの問題

(問11において「4 書類・紙面を提出」、「5 FAX」、「6 電話」、「7 その他(具体的にご記入ください)」を選択した場合)

問11-5 将来的に電子的な伝達を求められた場合に対応できますか。以下より選択してください。

<選択肢>

- 1 対応できる
- 2 困難である



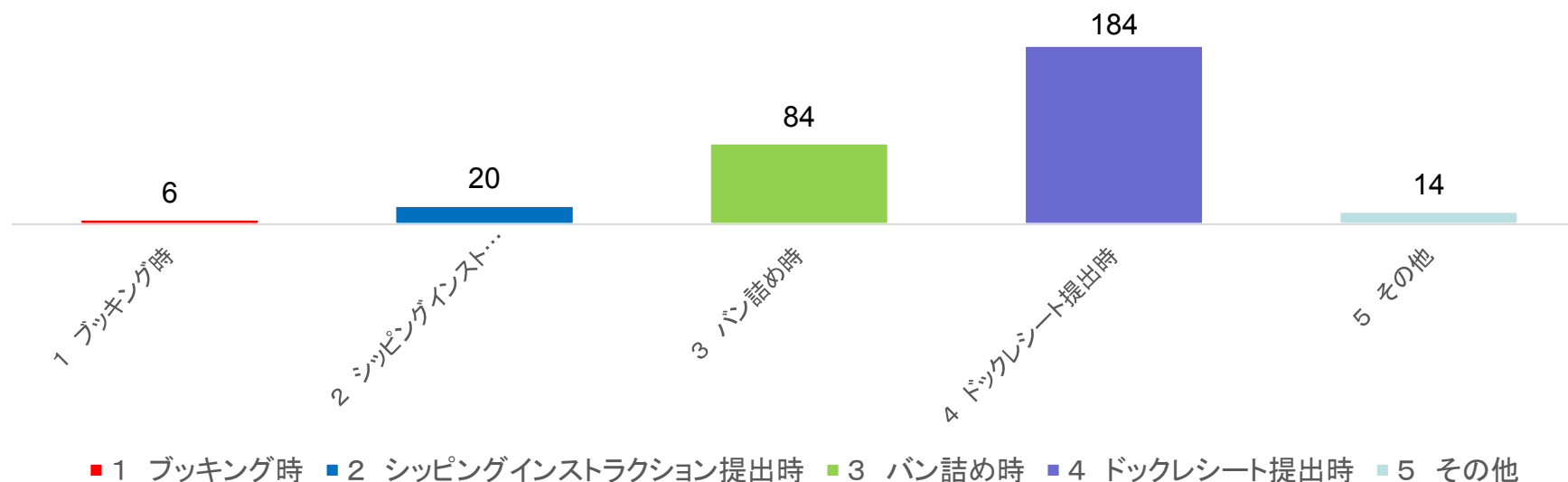
■ 1 対応できる ■ 2 困難

問11 <コンテナ貨物情報の伝達方法>

問11-6 将来的に輸出コンテナを取り扱う船社又は港湾ターミナルに対して電子的な伝達を求められた場合に、どのタイミングで伝達するのが望ましいでしょうか。(複数選択可)

<選択肢>

- 1 船会社又は代理者等に対するブッキング(運送契約の予約)時
- 2 シッピングインストラクション(船積み依頼書、SI)提出時
- 3 輸出コンテナをバン詰めする時
- 4 ドックレシート(D/R)提出時
- 5 その他(具体的にご記入ください)

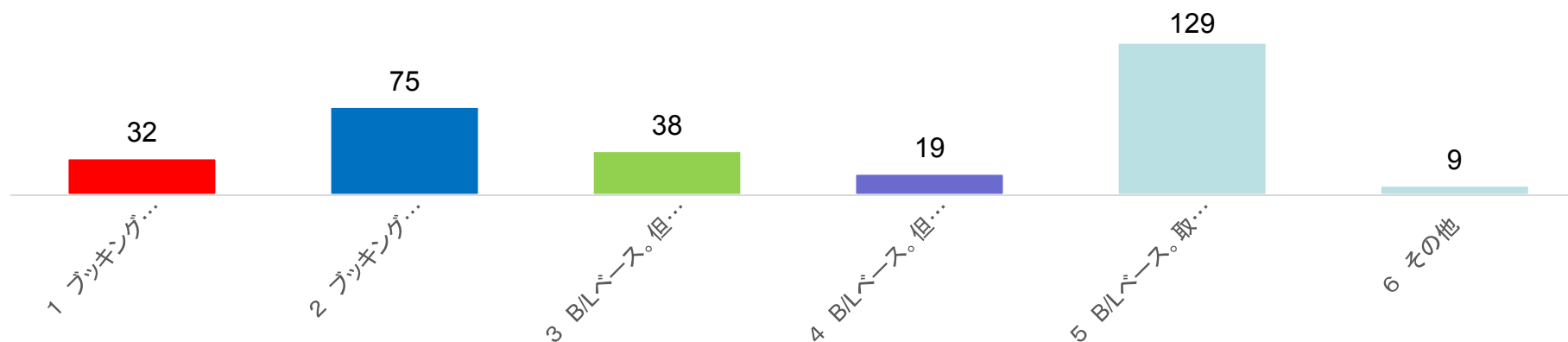


問11 <コンテナ貨物情報の伝達方法>

問11-6-1 問11-6のタイミングで伝達する際、どのような重量情報の単位で伝達できますでしょうか。(複数選択可)

<選択肢>

- 1 ブッキングベース。但し、取扱う輸出コンテナ総重量の見込み値のみで構わない。
- 2 ブッキングベース。取扱う個々の輸出コンテナ総重量の確定値が望ましい。
- 3 B/L(船荷証券)ベース。但し、取扱う輸出貨物の総重量の合計値のみで構わない。
- 4 B/L(船荷証券)ベース。但し、取扱う輸出コンテナ総重量の合計値のみで構わない。
- 5 B/L(船荷証券)ベース。取扱う個々の輸出コンテナ総重量の確定値が望ましい。
- 6 その他(具体的にご記入ください)



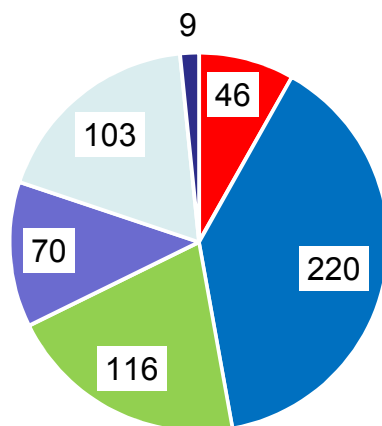
- 1 ブッキングベース。但し、取扱う輸出コンテナ総重量の見込み値のみで構わない
- 2 ブッキングベース。取扱う個々の輸出コンテナ総重量の確定値が望ましい
- 3 B/Lベース。但し、取扱う輸出貨物の総重量の合計値のみで構わない
- 4 B/Lベース。但し、取扱う輸出コンテナ総重量の合計値のみで構わない
- 5 B/Lベース。取扱う個々の輸出コンテナ総重量の確定値が望ましい
- 6 その他

問12 <コンテナ貨物情報の伝達方法>

問12 国際条約上は署名・重量のみが義務とされていますが、国内外の船社・港湾ターミナル関係者より、追加的な項目(例. 確定した日時・場所、方法1/2、責任者・担当者の連絡先、シリアルナンバー、等々)を要請されるとした場合、どのような課題がありますか。
(複数選択可)

<選択肢>

- 1 特にない
- 2 記入やチェックすべき項目が増加して煩雑である
- 3 紙面による情報伝達では、様式の変更等により複雑となる
- 4 電子的な手法であれば、予め標準的な方法・様式ファイルがあれば実施できる
- 5 国によって追加項目が異なった場合に作業が煩雑である
- 6 その他(具体的にご記入ください)

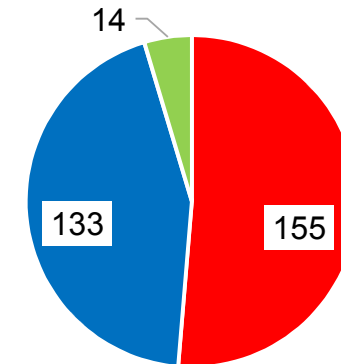


- 1 特にない
- 2 記入やチェックすべき項目が増加して煩雑である
- 3 紙面による情報伝達では、様式の変更等により複雑となる
- 4 電子的な手法であれば、予め標準的な方法・様式ファイルがあれば実施できる
- 5 国によって追加項目が異なった場合に作業が煩雑である
- 6 その他

問13 コンテナの重量に関する社内・職員間の意識変化はございましたか。以下より選択し、お気づきの点をご記入ください。(自由記述)

<選択肢>

- 1 高くなった
- 2 特段変わっていない
- 3 分からない



■ 1 高くなった ■ 2 変わらない ■ 3 分からない

<具体的な意見>

- 1 高くなった
 - ✓ 具体的なコンテナ輸送における事故事例を参照することでコンテナ重量に対する意識が高くなったと感じる。
 - ✓ 高くなったといっても、ものすごくという表現ではなく、気にするようになった程度
 - ✓ VGMデータを輸出先より求められることがあるため、貨物重量及び、梱包材に対する重量への意識は高くなっている。
- 2 特段変わっていない
 - ✓ 重量は非常に重要な為 高い意識を昔から持っているので特段変わっていない。
 - ✓ 会社として利益があがらない上に、社員の手間(工数)だけ増えた形になっている。
 - ✓ 先進国日本において、いい加減な重量連絡を行う輸出者様は少ないと思っております。重量の正確さは、主に後進国に対して行うべきと思います。